
○

平成 30 年度第 20 回秋水園杯争奪少年野球大会

大会実施要項

主催 秋水園杯少年野球連盟
後援 株式会社 滝野川梱包運輸

○

実施要項

I) 期間

9月中旬～12月下旬

開会式：9月9日(日)午後5:00 東村山運動公園野球場。

全員参加を旨とする。

やむを得ず欠席する場合は事前に大会本部へ届け承認を得ること。

II) 大会規定

1) イニング数・試合時間

少年部(中学二・一年生)：リーグ戦又はトーナメント戦に依る七回戦・1時間30分以内

学童Ⅰ部(小学六・五年生)：トーナメント戦又はリーグ戦に依る七回戦・1時間30分以内

学童Ⅱ部(小学四年生以下)：トーナメント戦又はリーグ戦による五回戦・1時間20分以内

学童Ⅲ部(小学三年生以下)：リーグ戦又はトーナメント戦による五回戦・1時間20分以内

※学童Ⅲ部に於いて振り逃げは認めない事とする。

※選手登録に関しては下部より上部への繰り上げ登録は可とする。

正式試合に満たずに試合続行が不可能な場合は、①打ち切り(成立)②ノーゲーム(再試合)③サスペンデッドゲーム(継続試合)の選択を、本部役員・責任審判・当該審判員(控え審判員を含む)にて、その場で協議し決定する。

2) 勝敗決定方法

リーグ戦：規定回数又は規定時間にて打ち切りとし、勝敗は均等回の得点にて決定する。

順位決定は、①勝利数②対戦結果③失点④得点⑤対戦結果の順とする。

延長戦及び得点差による打ち切りは行わない。

決勝トーナメントを行わない場合は、全試合決勝戦の規定を適用する。

トーナメント戦：規定回数又は規定時間超過後速やかに特別延長戦を行う。

3) 打ち切り試合・特別延長戦・決勝戦・その他

得点差

少年部及び学童Ⅰ部は、三回15点差・四回10点差・五回7点差とする。

学童Ⅱ部及びⅢ部は、三回10点差・四回7点差とする。

特別延長戦

一死二・三塁、任意打順とし二回迄行って勝敗がつかない時は抽選とする。

抽選は、指導者等(監督・コーチ・保護者)両チーム二人ずつで行い、選手の参加は認めない。

決勝戦

規定時間内に規定回数まで行い、時間が残っている時は、時間内で通常延長戦を二回迄行う事が出来る。

上記にて勝敗がつかない時は特別延長戦(無制限)を行う。

その他

本規定に記されていない処は「2018 公認野球規則」「全日本案式野球連盟競技者必携書」記載事項並びに、同必携書の「学童野球に関する事項」に記された規

則を適用して行う。

ベースコーチについては「高校野球特別規則(2016版)第5項」を採用する。

臨時代走については「高校野球特別規則(2016版)第6項」の「投手を除いた」を「投手及び捕手を除いた」に変更し採用する。

4) 規律違反等の処置

試合中における選手又は審判員に対する個人攻撃及び好ましくない野次は禁止する。

違反した時は、本部役員・審判員・グラウンド責任者は注意を与え、再度注意しても改めない場合は退場を伴う処分を行う事もある。

聞き苦しい野次は、チーム責任者として監督を退場させる事もあり得る。

5) その他

選手登録書

選手登録書は試合に先立ち必ずメンバー表3枚と共に提出をする事。

※提出無き場合は不戦敗と成る事もある。

ベンチ入りが許される指導者等(大人)

監督・コーチ2名・スコアラー・代表

※監督・コーチ2名はユニフォームを着用する。

※審判服・審判帽着用でのベンチ入りは認めない。

参加の条件

チーム事情にも依るが、ダブルヘッダーも考えられるので、投手・捕手は二名以上用意するのが望ましい。

本年度のスポーツ保険へ加入している事。

※本連盟では特に写しの提出を義務とはしないが、未加入による怪我等についての責任は負わない。

応援について

メガホンはチーム2個迄とする。

バックネット裏の観戦は認めるが応援は認めない。

役員及び審判の指示に従う事。

試合結果報告の義務

試合終了後、必ず①試合会場②開始時刻③得点を記載の上事務局アドレスへ送付願います。

秋水園少年野球連盟規則(実施要項)の適用

決勝戦を除き、全当事者(当該チーム・審判員・グラウンド責任者等)の了解が有れば本規定を適用しなくても良いが、リーグ戦の勝敗決定(得点・失点による順位の変動)に影響が出る事が考えられるので注意する事。

Ⅲ) 使用グラウンド

東村山(恩多)運動公園 (9:00~17:00)

武蔵野公園 (9:00~17:00)

小金井公園野球場 (9:00~17:00)

東大和南公園 (9:00~17:00)

真如苑村山グラウンドA・B面 (8:00~17:00)

真如苑グリーン広場（9：00～17：00）
八王子稜南公園グラウンド（9：00～17：00）
各チーム使用グラウンド

※出来る限りグラウンドの空きが出ない様日程調整に協力すること。

IV) 試合日程の再調整

調整会議に於いて決定した日程は原則として変更出来ないが、緊急に学校行事などで変更を余儀なくされる場合は、相手チームの了承を得、事務局(本部)に届け出をすれば変更することが出来る。

事務局の指定する日にちまでに終了しない場合は、最初に日程変更を申し出たチームを不戦敗とする。

悪天候等で他の大会が順延になって変更の必要が生じた場合も同様とする。

※武蔵野公園、東大和南公園、八王子稜南公園は優先使用となっており、グラウンドを使用しないと次年度の確保日が減らされ、また使用料金も1単位三千円と高額なので、出来る限り空きが出ない様にする。空いたグラウンドは有料にて使用希望チームへ貸し出す事もある。

V) 不戦敗

試合当日のキャンセルは受け付けず不戦敗(0-7)とする。

「日程変更の依頼」は変更理由と共に下記へ届け出、必ず回答を貰う事とする。

届出先(事務局)：080(3109)4775{電話} baseball@tk-express.com{Eメール}

VI) 表彰

☆優勝 《賞状・旗・楯・メダル(金)15個迄》

☆準優勝 《賞状・楯・メダル(銀)15個迄》

☆特別賞 最優秀選手賞 《賞状、記念品》

 優秀選手賞 《賞状、記念品》

 完全試合賞等 《賞状、記念品》

※優勝及び準優勝メダルは有償にての追加も受け付けます。

VII) 閉会式

表彰されるチーム及び選手は全員出席のこと。

VIII) 試合記録の提出

本部より支給された用紙に記録し、グラウンド責任者へ提出のこと。

選手の交代、審判の氏名は必ず記載すること。

IX) グラウンド責任者

日程調整会議で指名されたチームは、担当者を必ずグラウンドに1名以上常駐させグラウンドルールの確認、試合時間の管理及び提出された記録の保持などの業務を行う事。

X) 審判員の服装等

審判員にふさわしい服装とする。

ユニホーム、トレーニングパンツ、ジャージ、作業用ズボンは不可。

審判帽は必ず着用(ロゴマークの有無は問わない)の事。野球帽は認めない。

※上記服装及び審判帽の着用の無き者には審判行為を行わず、場合によっては義務の不履行としてペナルティを課す事もあります。

X I) 真如苑の交通整理

指定されたチームは、担当時間帯に係員を常駐させ規則に従い整理を行う。

X II) 登録費・参加費

年間登録費(少年部・学童部)	一球団	5,000 円
----------------	-----	---------

※当面の間聴取しない

大会参加費(1チーム)	少年部	8,000 円
-------------	-----	---------

	学童部	5,000 円
--	-----	---------

X III) 参加申し込み締め切り日

葉書による申し込みは抽選会三日必着

※事前登録された場合は、葉書による申し込みは不要です。

X IV) 登録書について

登録には球団登録書及び選手登録書が必要になります。

各登録書はホームページに掲載して有ります。

球団登録書及び選手登録書はEメールにて受け付けます。

選手登録書の変更下記の要領で随時受け付けます。

試合日直近の水曜日迄に下記アドレスへ、プロテクトを掛けずに送付下さい。

承認印を押印の上金曜日までに返送します。

承認印のない選手登録書は無効となります。

事務局アドレス : baseball@tk-express.com

X V) 総会・抽選会

9月9日(日)18:30～、東大和中央公民館 301 号室

抽選会にて登録費・参加費を徴収させて戴きます。

登録費・参加費を戴けない場合は参加をお断りする事があります。

参考資料

高校野球特別規則(2016版)

ベースコーチ

- 5) 試合中に交代して退いた選手でも、ベースコーチに出たり、伝令となる事が出来る。

臨時代走

- 6) 試合中、攻撃側選手に不慮の事故などが起き、一時走者を代えないと試合の中断が長引くと審判員が判断した時は、相手チームに事情を説明し、臨時の代走者を許可する事が出来る。此の代走者は試合に出場している選手に限られ、チームに指名権はない。

臨時代走はその代走者がアウトになるか、得点するか、又はインニングが終了する迄継続する。ただし、塁上にいる臨時代走者が次打者となるケースに於いては、その臨時代走者に代えて打撃を完了した直後の者を新たな臨時代走者とする。

臨時代走者に替えて別の代走を送る事は出来る。この場合、負傷した選手に代走が起用された事になり、負傷選手は以後出場出来ない。

(1) 打者が死球などで負傷した場合

投手を除いた選手の内、打撃を完了した直後の者とする。

(2) 塁上の走者が負傷した場合

投手を除いた選手の内、その時の打者を除く打撃を完了した直後の者とする。